

子育て座談会

参加者 募集

こんなサポートが
あればなあ



新しい発見が
あるかも

日ごろ感じている子育てに
関する思いやアイデア、お困りご
となどを少人数のグループで気
軽に語り合いませんか？

1人で子育て
している気がする

こんな時、皆は
どうしてるのかな？

対象:未就学のお子様を在宅で育てている方

定員:各回とも18名(申込み多数の場合は抽選となります。)

お子様同伴可・キッズスペースあり

時間:10:00~11:30

※本座談会は在宅で子育てされている方への支援の充実を目的として実施いたします。



5/23(木)
石切子育て
支援センター
そらっこ
(新石切駅)

5/25(土)
市役所
総合庁舎
7階 会議室
(荒本駅)

5/28(火)
イコーラム
第一研修室
(若江岩田駅)

5/30(木)
布施子育て
支援センター
ゆめっこ
(布施駅)

申込方法:電子申請システムもしくは電話でお申込ください

※電子申請システムは右の二次元バーコードを読み取るか、東大阪市の
ウェブサイトから電子申請システムにアクセスしてください。

締切:5月13日(月)

【問合せ先・申込み先】 東大阪市 子どもすこやか部 子ども家庭課
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号
Tel:06-4309-3194 Fax:06-4309-3225
E-Mail:kodomokatei@city.higashiosaka.lg.jp

電子申請は
こちらから



在宅子育て家庭の座談会について

<開催日・開催場所・参加人数>

5月23日(木) 10:00~11:30 石切子育て支援センター 7名

5月30日(木) 10:00~11:30 布施子育て支援センター 4名 計11名

<結果概要>

項目	内容
<p>①子育ての大変さに対して具体的にどういう支援や環境があったらいいと思うか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども連れて買い物が大変。ベビーカーとカートは同時に押せない。兄弟ができれば子どもを複数連れての買い物はさらに大変。買い物のサポートがあればうれしい。 ●保護者同士の交流 <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中にどんなものを用意するかなどの情報が調べてもよくわからなかった。先輩ママと話ができる場があればうれしい。 ・子育ての不安を話したりできるような、同じ月齢のママとの交流の時間がもっとほしい。 ・子どもを預かってもらって、ママたちで1時間くらい話せる空間があればいい。 ●一時預かり <ul style="list-style-type: none"> ・予約がとれない。前日や当日の予約はとれないので預けることができない。急な病気、急用、兄弟で小学校・幼稚園にそれぞれ迎えに行けないときなど急遽の預かりに対応してほしい。 ・リフレッシュ型の4時間は短い。6~8時間あれば、その日にいろんな用事を詰め込めて効率的。他の市ではリフレッシュ型でも一日預かりに対応している。 ・一時預かりに給食がでてほしい。 ・一時預かりの予約システムが使いにくい。ネット予約は0時からというのが難しい。気が付けば埋まっている。その後の電話予約が面倒。アプリとかウェブで予約しやすくなればいい。 ・年齢が低いと利用料が高い。 ・身近な場所に一時預かりがほしい。 ・8時から利用できるようにしてほしい。 ・気軽に預けることができる一時預かりセンターのようなものがあればいい。 ・兄弟がいる場合、小学生も一緒に預かってほしい。 ●ファミリー・サポート・センターについて <ul style="list-style-type: none"> ・どんな方が来ていただけるのかが不安。 ・お金を個人間で手渡しなので、直接現金を介さないような方法があればいいと思う。 ・面談の段階で家に来てもらわないといけないことに抵抗がある。 ・もう少し金額は高くてもいいので、プロの人によるサポートの制度があったらいいと思う。 ●健診 <ul style="list-style-type: none"> ・予防接種の時期の把握が難しい。病院によっては接種時期を教えてくれるので助かっている。 ・午後から始まると兄弟の幼稚園のお迎えが難しい ・服を脱ぐのを嫌がる。パーテーションがあればうれしい。 ・間隔について、4か月健診の後、健診の間隔があく。任意でもいいので2か月に1回くらいの健診があってほしい。相談ができるタイミングがほしい。 ●1日2時間程度、定期的な預かり又は家に保育者が来てほしい。 ●自分の体調不良のときなど、家事サポートがあればうれしい。 ●産後ケア事業(デイサービス)はありがたい。東大阪市は4か月までしか使えない。大阪市は1年、八尾市も6か月使える。月齢に応じた相談などもあるので、産後ケア(デイサービス)をせめて6か月までのばしてもらおうとか、時間が短くてもいいのでもう少し長い期間使えたらいいと思う。

<p>②自分で子どもをみられないときの対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●親が体調不良の時 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症が心配で子どもを病院に連れていきたくない。 ・自分の体調不良時に一時預かりの予約をしたり、連れていったりすることができない。 ・両親ともに体調が悪い場合、父親は寝ているだけ。母親が家事をしないといけないことの不満が出た。(父親の育児参加?) ・自分の体調不良くらいなら我慢する ・体調不良の時など、祖父母に感染させてはいけないので頼れない。 ●歯医者、美容院に行くとき ●夫に半日休んでもらう ●お風呂に入る時 ●子どもが入院や病気の時、子どもが複数いると一人の子どもの付き添いが必要な場合、家庭で保育ができなくなる。 ●祖父母の通院の付き添いなど事前にわかっているときは一時預かり ●祖父母を呼ぶ(遠方で呼べない人もいる) ●義理の実家には預けにくい ●祖父母なども仕事をしていたり、普段から見てもらっているわけではなかったり、簡単には預けづらい。
<p>③普段利用している施設や相談先</p>	<p><利用施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ●支援センター(そらっこ、ゆめっこ、あさひっこ) ●つどいの広場(ぴっころ) ●子育てサロン(ひょうたん島) ●保育園等の園庭開放 ●大阪市内や郊外の施設(有料施設) ●商業施設の中にある屋内遊具施設 ●花園公園について <ul style="list-style-type: none"> ・遊具は大きな子が多く、怖くて遊ばせられない ・ドッグランと同じくらいの敷地で、乳幼児の遊び場があればいい ●久宝寺緑地は連れていきやすい、駐車場から公園が近い、遊具が柵で囲われている ●子どもの遊び場について <ul style="list-style-type: none"> ・東大阪市にはあまり子ども連れ・子どもが遊べる施設が少ないのでもっと増やしてほしい。 ・小さな子どもが安心して遊べる公園がほしい。 ・小さい子向けの遊具・小学生くらいの子と別のスペースや時間帯 ・柵で囲われてないので飛び出しが怖い。親一人で子二人に目が行き届かない ・猫が入るので砂場の衛生面が心配 ・小学生以上の子がのびのび遊べる場所、ボール遊びができる場所があればいい。 ・学校の校庭で放課後遊べたらいい。 ・支援センターでは上の子が就学したら下の子と一緒に遊びに行けない。兄弟(小学生と就学前児童)と一緒に遊べる場所がほしい。 ●ベビーカーで入れる施設が少ない。ベビーカーや車いすなどバリアフリーに対応した施設がもっとあればいいと思う。バスに乗るのも難しい。 <p><相談></p> <ul style="list-style-type: none"> ●家族(親兄弟、夫) ●同月齢のママ友 ●友人 ●同じ年齢の子どもの保護者が集まれる場がほしい。 ●子育てサークル ●ラインのオープンチャット ●日々子育てに追われていてわざわざ自分からTELまではしない ●双子の教室は友達作り、情報交換ができてありがたい

	<ul style="list-style-type: none"> ●相談というわけではないが、普段子育て支援センターを使うときにいろいろ保育士に話をしている
④もう一人子どもを生むために必要な条件	<ul style="list-style-type: none"> ●保育所等 <ul style="list-style-type: none"> ・必要と感じた時期にすんなり保育所に預けられるなら考えられる。 ・0才はまだ入りやすいというけれどその時はまだ家で子どもと一緒に過ごしたかった。いざ預けたいときに(認可外含め)預け先がない。 ・保育所に預けることがこんなに大変と思わなかった、この春入所できず仕事を辞めざるをえなかった。 ・保育園を増やしてほしい。 ●経済的余裕 ●産前から集まったり、気軽に育児の話がしたりできる場所 ●東大阪市の出産お祝いギフトがイマイチ、トライくん推しなのは分かるが、他の市が羨ましい。 ●母親がほっと一息ついて自分でいられる時間がとれるように少しの時間でいいから預かってほしい。 ●食費の支援を増やす(大阪府こども支援事業のようなもの)。申込制ではなく、みんなに定期的な支給があればいい。 ●病児保育施設を増やす。
⑤普段の情報収集方法	<ul style="list-style-type: none"> ●目的によって使い分けしている 支援センター、ママ友、SNS、口コミ ●市のHPや支援センターのチラシ。 ●SNSなどで大阪市内、郊外の子どもの遊び場の情報を得る ●園庭開放のチラシ。いいと思うイベントで都合がつけば遠くても車で行く。園庭開放だと飛び出す心配などがなく安心。 ●インスタで調べる(画像・動画をみられる) ●支援センターの利用も初めは勇気がいった。インスタなどで、画像や動画など、利用している様子が見られたらいい。 ●出産後コロナ禍であったため、子育て世帯が集まれる場所がなかった。インスタで調べたりして民間の子育て世帯向けの集まれる施設にも行ったが高い。公民関係なく集まれる場所などについての情報が手に入るようにしてほしい。 ●市政だよりが届かない。すくすくトライの更新も少ない。もっとウェブやSNSで情報発信してほしい。 ●情報格差がなくなるように、子育ての制度や施設などをもっと広報してほしい。 ●幼稚園の情報がほしい。
⑥0歳から2歳の無償化による影響について	<ul style="list-style-type: none"> ●0-2歳の保育料を無償化にする前に、入所できるようにしてほしい ●無償化でなくていいから、お金がかかっても預けたい ●無償化になればうれしいが待機児童が増えそう。 ●施設・人員が確保されているなら預けたい。 ●そもそも保活のハードルが高すぎる。仕事していないと入れないのでそもそも入れようと思えない。 ●制度は不公平にならないようにしてほしい。 ●親のためというよりは子どものための制度となったらいい。 ●無償化になっても保育園の要件に当たらないので何も変わらない。
⑦その他	<ul style="list-style-type: none"> ●こども誰でも通園制度 <ul style="list-style-type: none"> ・3歳になったら使えない。 ・0歳児だけしか利用できないなど、制度が思っていたものと違った。 ・金額も書いてないのでよくわからない。 ・月10時間では短い。あまり使えない。 ●東大阪市の車が混んでいて移動が大変、トラックが多い、道が狭い ●駐車場のない施設、園も多い ●保育所選びでは家や職場からの位置、車で送迎状況、小学校区、園内の習い事(英会話、ダンスなど)の有無などもポイント ●相乗りタクシー(mobi)。近くに乘れる場所。支援センター近くに停まってほしい。もっと広範囲で利用できるようにしてほしい。

- 自治体によって制度が異なるのはおかしい。どこに住んでいても同じ制度が利用できるべきだと思う。
- ・八尾市：2歳の保育料は無料
- ・大阪市：学童（児童いきいき放課後事業）は年間500円で使える。
- ・神戸市：夏休みに児童館で学童保育があって、普段利用していなくても夏休みだけ使える。
- ・その他の市：支援センターに高齢のボランティアの人がいていろいろ話ができる。制度が手厚い。

<子育ての悩み等>

●食事

- ・子どもそれぞれの年齢に合わせた食事の用意が大変。
- ・食べムラ・食のこだわり・偏食への対応。野菜をたべない。
- ・自分がしんどいときにも食事の用意をしなければならない。
- ・一日中食事の用意に追われている気がする。
- ・同じメニューばかり食べさせてしまう。
- ・家で工夫しても食べてくれないのに、幼稚園の給食だと食べる。
- ・親が体調不良の時、ごはんを作るのが大変。

●一人で見ているときの家事

- 兄弟姉妹同士で延々とケンカする、体力がついてくると取っ組み合いにもなる

●寝かしつけ・睡眠

- ・一人が寝たら、もう一人が起きてくる。母が休める間がない。
- ・睡眠不足（3時間ごとの授乳、こどもが夜遅くまで寝ない。）

- 親の入浴時、子どもを先に入れた後、親一人で入る時間が心配。子どもがのぞきに來るので、ゆっくり入れない。

●卒乳

- 広い場所だと一人でどンドン歩いていきたがる。

- 美容室にいけない。